

第9課 原因・理由(1) やる気

原因・理由(1) やる気



しなければいけないのだが、やる気が出ないということが
ある。自分の好きなことだったらやる気が出るが、それが義
務だと思うとなかなかやる気が出ないものだ。

やる気というのは、好きか嫌いかという判断以外に「好奇
心」と「目標」と「報酬」の3つの要素が関係しているらし
い。初めてのものに対して、それがどんなものか知りたいと
いう気持ちがあればやる気が出る。それから、それを何のた
めにするのかははっきりしている場合もやる気が出る。そして、
その目標を達成したら何かもらえることがわかっていれば、
さらにやる気が出る。

しかし、注意しなければならないことが2つある。目標を
立てても、それが高すぎるために途中であきらめる人がけっ
こう多い。まずは無理のない目標を立てる。それを達成して
自信をつけて、満足感を得る。そうすれば次のやる気につな
がるはずだ。

物の報酬は、初めは非常にやる気を刺激してくれるが、そ
れが続くと効果がだんだん弱まる。その刺激に慣れてしまう
からだ。やる気を出すために、より大きい報酬を求めるよう
になる。それよりも精神的な報酬のほうが効果的だ。小さな
ことでもほめられると、満足感をより強く、より長く得るこ
とができる。そして「もっとできるはずだ」という自信につ
ながる。

しかられて、「よし、次は頑張ろう!」とやる気を出す人も
いるが、たいていは、しかられることによるマイナス効果の
ほうがプラス効果より大きいものだ。だから、いくらしかっ
ても効果がないのなら、たまにはその人をほめてあげてみた
らどうだろうか。

やる気

義務

判断 好奇心

目標 報酬 要素

はっきりする

達成

立てる

満足感 得る

つながる

刺激

効果 弱まる

より 求める

精神的 効果的

ほめる

よし

マイナス

プラス だから

第9課 原因・理由(1) やる気

■ 本文設問

- (1) 本文ではやる気と関係があることについて何が挙げられていますか。
 (2) 途中でやる気がなくなるのはどうしてですか。
 (3) 「精神的な報酬」というのは何ですか。それはどうしていいのですか。
 ◇ 本文で紹介されていることについて、あなたはどのように思いますか。これ以外にもやる気につながるものがあれば話してください。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	やる気	義務	好奇心	目標	報酬	要素	効果
	マイナス(効果)			プラス(効果)			
な形容詞	精神的	効果的					
名詞／動詞Ⅲ	判断(する)	はっきりする	達成(する)	満足(する)	刺激(する)		
動詞	目標を	立てるⅡ	得るⅡ	つながるⅠ	求めるⅡ	ほめるⅡ	
	弱まるⅠ	(→ 関連語)					
副詞	★より～						
接続詞	★だから						
その他	(満足)感	「よし」					



[基本動詞の用法]

- ・(やる気が／を)出る／出す (自信が)つく。

[自動詞と他動詞]

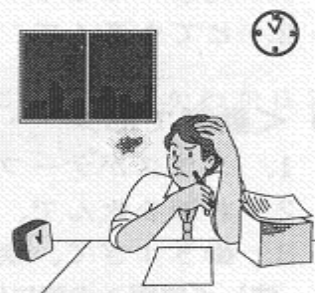
「つながるⅠ」／「つなぐⅠ」「つなげるⅡ」

- ・このコードはパソコンにつながっている。
- ・この道はA市につながっている。
- ・何回も電話したけど、なかなかつながらなかった。
- ・手をつなぐ。
- ・二本のロープをつなげる。

「立つⅠ」／「立てるⅡ」

「建つⅠ」／「建てるⅡ」

- ・教室の前に立つ。
- ・棒が立っている／を立てる。
- ・ビルが建っている／を建てる。
- ・計画(予定)を立てる。



つなぐ つなげる コード ロープ 建つ 棒

第9課 原因・理由(1) やる気

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 やる気 目標 刺激 自信 満足 報酬 】

- (1) ボランティアだから () は求めない。
(2) 小さいことでも成功すれば () がつく。
(3) 辛いものは胃を () するから、胃が弱い人は食べすぎないほうがいい。
(4) () を立てて、それに向かってがんばる。
(5) 最近なんとなく () が出ない。
(6) 今の生活に () している。

■ 文型・表現

(＊＝初級レベルの文型・表現)

「原因・理由」の文型・表現 (1)

→★L.10【原因・理由】の文型・表現 (2)

→★L.19【原因・理由】の文型・表現 (3)

(1) 原因を表す表現 (※後ろの文には意志表現は使えない。事実を述べる)

1) <名詞>で・・・＊

- 大雪で電車が止まった。
- 風邪かぜで学校を休んだ。

2) <い形容詞>くて・・・＊

- 先生の話し方が面白くて、みんな笑った。
- とても高くて、買えなかった。

3) <動詞て形>・・・＊

- グラスがテーブルから落ちて、割れてしまった。
- お酒を飲んで、酔っ払ばった。
- 働きすぎて、病気になってしまった。

注) <原因>の時には、否定形は「～ないで」ではなくて「～なくて」を使う。

- 誕生日のパーティーに友達が一人しか来なくて、とても寂しかった。

第9課 原因・理由(1) やる気

4) ～の／＜動詞た形＞ために・・・

(→ 目的表現「～の／＜動詞辞書形＞ために」*)

(※原因と結果を客観的に述べる文なので、硬い文章によく使われる)

1. そのけがのために、試合に出られなかった。
2. 栄養不足のために、体重が5キロも減った。
3. 暑い日に外で何時間も働いたために、倒れてしまった。
4. 先生の注意を聞かなかったために、試験の日に大きなミスをしてしまった。
5. 円が高くなった。そのため、輸入が増えたが、輸出が減った。

注) 一般的な因果関係を述べる場合には、「＜動詞辞書形／ない形＞ために」も使われる。

6. たばこの火をよく消さないで捨てるために、山火事になることがある。

5) ～によって・・・／～による～ (→「～によって」受け身文*)

→ ★L.12「～によって」手段

1. ストレスによっていろいろな病気になる。 ストレスによる病気(が怖い)
2. 事故によって人が亡くなる。 事故による死者(の数は増えている)
3. 不注意によって事故が起こる。 不注意による事故(が一番多い)
4. 目を使いすぎることによって肩がこる。 目の使いすぎによる肩こり(がひどい)
5. 習慣が違うことによって誤解が生まれる。 習慣の違いによる誤解(に注意する)

(2) ＜^{じゅんせつ}順接の接続詞＞を使って原因・理由を表す

1) ～から、・・・ / ですから、・・・ *

(※文末に意志表現、主観的な表現がよく使われる)

1. あしたはテストがありますから、今晚勉強します。
2. ちょっと暑いですから、窓を開けてください。
3. 疲れたから、少し休みましょうか。
4. これは私にとって大きな問題だと思います。ですから、一度両親と相談してみ
るつもりです。
5. 1週間くらい休みがとれそうですから、家族と一緒にハワイに行こうと思います。

2) だから、・・・ (※1と同じ／「ですから」の普通体)

1. こちらに引っ越したばかりです。だから、まだどこに何があるかわかりません。
2. いまとても忙しいんです。だから、邪魔しないでください。

第9課 原因・理由(1) やる気

3) ～ので、・・・ / それで、・・・ (※事実を述べる文、客観的) *

1. おなかが痛かったので、横になって少し休んだ。
2. 傘を忘れてしまったので、ぬれてしまった。
3. お盆とお正月は都会の人が帰省する。それで、高速道路が非常に渋滞する。

注) 丁寧なお願いの文では「ので」が使われる。

4. すみませんが、勉強中なのでもう少し静かにしてもらえませんか。
5. あしたお返ししますので、この本を1日貸していただけませんか。

注) 目上の人に対して言い訳する時にも「ので」が使われる。

6. すみません。バスが遅れたので、遅刻してしまいました。
7. 教えていただいた電話番号をなくしてしまったんです。それで、連絡ができませんでした。

(3) 原因・理由をたずねる／答える表現

1) どうして／なぜ・・・んですか *

～から。／～んです。 * (※会話表現)

1. A「どうしてうそをついたんですか」
B「本当のことを話したら怒られると思いましたから」
2. A「なぜ歯医者に行きたくないんですか」
B「あのキーキーという音が嫌なんです」

2) (どうして／なぜ・・・)

～＜普通形＞からだ／です。 (※文章でも使われる表現)

1. A「赤ちゃんはなぜ泣くのですか」
B「母親に何かを知らせたいからです」
2. A「なぜ火事が起きたのですか」
B「ストーブを消さないで出かけてしまったからです」
3. 大学の経営が厳しいらしい。それは若者の人口が減っているからだ。(→文型4)

3) (どうして／なぜ・・・) → ★会話の文型・表現<4>

～もの／もんですから。

(※会話表現／個人的な理由を話して、相手に分かってもらいたいという気持ちが入る)

1. A「もう遅いですから寝たほうがいいですよ」
B「あしたテストがあるものですから、心配で…」

第9課 原因・理由(1) やる気

(だって)～もの／もん。 (※くだけた表現)

2. A「どうしてそんなに怒っているの」

B「だって、山田君がひどいことを言ったんだもん」

(4) 倒置文^{とうちぶん} (※相手が知っている結果をもう一度繰り返すことで理由の部分強調する)

1)・・・のは～からだ

1. 今回失敗したのは準備が足りなかったからです。

2. 私がこの仕事を続けているのは、この仕事が好きだからだ。

2)・・・のは～ためだ

1. 携帯電話がこれだけ広まったのは、やはり安くなったためだ。

2. 彼が会社をやめたのは、人間関係がうまくいかなかったためだ。

その他の文型・表現

(1) ～ものだ (※物事の真理、当然)^{しんり} → ★L.11「～たものだ」

★L.13「～たいものだ」

★L.17「<い形容詞>ものだ」

1. 人間は一人では生きられないものだ。
2. 相手の気持ちというのはなかなか分からないものだ。
3. 「見るな」と言われると、見たくなるものだ。
4. 人生は悪いことばかりではない。いいこともあるものだ。

(2) より～ (※比較する対象は『今』『その時』)

1. より良い生活ができるように、一生懸命に働く。
2. 衛星放送によって、より多くの人々が同時に見るできるようになった。
3. 医療技術の進歩によって、より長く生きることができるようになった。



第9課 原因・理由(1) やる気

(3) ～なければいけない／～なくてははいけない

(→「～なければならぬ」「～ないといけない」と同じ *)

1. 約束があるので、もう行かなければいけません。
2. 大学に入るためには、まずこの筆記試験に合格しなくてはならない。

注) 会話では縮約形が使われることもある。 → 縮約形 ①: 会話の文型・表現<3>

→ 縮約形 ③: 会話の文型・表現<4>

◇縮約形 ②

(1) 「～なければいけない／ならない」 → 「～なきゃ(いけない／ならない)」

(2) 「～なくてははいけない／ならない」 → 「～なくちゃ(いけない／ならない)」

1. 「早く帰らなきゃ」「さあ、勉強しなくちゃ」
2. 「どうして私がしなくちゃいけないの？」

■ 文型・表現練習

(1) ～ために

1. 厳しいトレーニングのために、途中で_____。
2. 試験で答案用紙に名前を書かなかったために、_____。
3. _____ために、川が汚れてしまった。
4. _____ために、目が悪くなってしまった。

(2) ～によって～ → ～による～

1. 地震によって大きな被害が出た。
→ _____による_____は1億ドルになるらしい。
2. 飲酒運転によって事故が起こる。
→ _____による_____はなかなか減らない。
3. 事故によって道路が渋滞した。
→ _____による_____の_____が1時間以上続いた。

第9課 原因・理由(1) やる気

(3)・・・のは～からだ／ためだ

1. あのレストランが人気があるのは_____。
2. 私が日本語を勉強しているのは_____。
3. _____のは遊んでばかりいるからです。
4. _____のは前に一度ひどい経験をしたためです。

(4) ～ものだ

1. 学生というのは_____。アルバイトばかりしてはいけ
ない。
2. 恥ずかしいことは人には話したくないが、うれしいことがあると、_____
_____。
3. 外国で生活を始めると、最初は珍しいことが多くて楽しいが、だんだん_____
_____。

(5) ～なければいけない／～なくてははいけない

1. この国では_____以上の方は2年間軍隊に_____。
2. 朝8時の新幹線に乗りますから、_____。
3. 学校にある本やテープを借りる時には_____。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『したかったこと／したくなかったこと』：あなたがしたかったけれどしなかったこと、したくなかったけれどしたことを、理由といっしょに書いてみましょう。
- ・ 『やる気』：あなたはどんな場合にやる気が出ますか。

第10課

takahata